

文部科学大臣杯 第19回小中学校将棋団体戦 神奈川県大会 開催要項

※緊急の対策等が必要になった場合は、開催の直前に試合の組み合わせ等と同時にホームページに掲載します。
その場合の対応についてはご協力をお願いします。

※当日、午前6時の時点で以下の5種類の警報が1つでも横浜市に発表継続中の場合、大会を中止します。

- ア. 暴風警報 イ. 大雪警報 ウ. 暴風雪警報 エ. 特別警報(大雨、暴風、高潮、波浪、暴風雪、大雪)
オ. 降灰警報

※試合の出場日、時間帯(午前・午後)、組み合わせ等は、大会のおおむね一週間前にホームページに掲載しますので、必要部分を印刷してご持参ください。

- 1 日時・会場 令和5年6月25日(日) 中学校選抜戦予選、小学校の部、(中学校交流戦)
横浜市青少年育成センター(関内ホール地下2階)
045-664-6251(JR「関内」駅北口 歩7分)
(横浜市営地下鉄「関内」歩5分)
- 7月2日(日) 中学校選抜戦決勝、中学校交流戦
横浜市技能文化会館(2階 多目的ホール)
045-681-6551(JR「関内」駅南口 歩5分)
(横浜市営地下鉄「伊勢佐木長者町」出口② 歩3分)

※両日とも、午前の部は9:20~12:20 午後の部は13:00~16:00

※中学校選抜戦は予選を勝ち抜いた場合、二日間の参加となります。

それ以外のチームはいずれかの日の午前もしくは午後の参加となります。

- 2 内容 **団体戦** ; 1チーム3名による小学校・中学校別 学校対抗団体戦。(2名・4名のチーム編成は不可・文部科学大臣杯参加規程による)。

上位チームは、文部科学大臣杯 第19回 小中学校将棋団体戦 東日本大会に出場する権利を得る。(昨年は小学校3チーム、中学校5チーム)

- 3 出場規定
- i 神奈川県内の小中学校に所属する児童生徒であり、学校毎にチームを組むこと。
 - ii 文部科学大臣杯 第19回 小中学校将棋団体戦 神奈川県予選の大会であり、且、交流戦の要素も加味している。
 - iii 1チームは同一校3名(限定)。一校、複数チーム参加可。同じ学校であるのなら、部活動・クラブ活動以外のグループでもよい。複数チームが参加の場合、段級点の上位者より順に3名ずつでチームを構成する。チーム名は所属する学校名とし、複数出場の場合は学校名の後に、段級点合計の高い順にA・B・C・・・と順番に付記する。登録されたメンバー・オーダーは変更できない。
なお、参加チーム枠を超えた場合、チーム削減をお願いする場合がある。
(11運営(1)「参加チーム決定方法」を参照)
 - iv 出場校は、必ず学校に担当教職員1名以上を置く。また、当日は1名以上の引率者(保護者可)がつかなければならない。
 - v 参加選手は各自一組の将棋盤と駒を持参する。対局時計も可能ならば持参する。

4 参加費 1チーム 1200円

5 申込方法 インターネットで「神奈川県小中学校将棋連盟」ホームページから申し込む。

※申込用紙は、大会が近づきましたらHPに掲載しますので、
必ず「19回大会用」をご使用ください。

※申込先アドレスは、ysmk2001@f02.itscom.net です。

6 申し込み期間 小・中学校とも 令和5年6月1日(木)～6月7日(水) 18:00 必着

※記入不備の申し込みが多く、差し戻しから再提出に時間が取られます。
提出期限に間に合うように早めの提出をお願いします。

7 主催 日本将棋連盟 神奈川県支部連合会
共催 神奈川県小中学校将棋連盟

8 審判長・役員 審判長 未定 運営委員長 関田 隆 他

9 大会時程

《 午前の部 》

9:20 ～ 9:30 引率者は受付 選手はトイレ等を済ませ着席待機

9:40 ～ 12:00 開会式は簡略化 試合は3試合のリーグ戦

終了後、簡単な閉会式

《 午後の部 》

13:00 ～ 13:10 引率者は受付 選手はトイレ等を済ませ着席待機

13:20 ～ 15:40 開会式は簡略化 試合は3試合のリーグ戦

終了後、簡単な閉会式

10 表彰 選抜戦は代表チームに賞状。交流戦は2位まで賞状を授与。個人賞としての全勝賞はなし。

11 運営

(1) 「**参加チーム決定方法**」(出場チームを制限する場合) ※文書末の図表を参照

① 各校の第1順位のチーム(Aチーム)を入れていく。

② 参加枠に余裕がある場合、次に各校の第2順位のチーム(Bチーム)を入れていく。これを繰り返す。(C、D、…)

③ ある順位のところで全校のチームが入りきれない場合は、次の優先順位で決定する。

優先順位1 参加チームが多い学校のチーム。

優先順位2 学年点の高いチーム。

④ ③の方法で決まらない場合は、役員会で抽選により決定する。

(2) チーム編成 1チーム3名(限定)。

(3) 代表チーム選考方法

代表を決める選抜大会は、小学校・中学校別々にリーグを構成し実施する。小学校選抜大会の参加数は8チームを原則とする。中学校選抜大会の参加数は16チームを原則とする。これらのチームの選考に当たっては、参加申し込み票に記された、段級点と学年点の合計の高いチ

ーム順に選考していく《書類選考》。この後、各選抜大会を行い、リーグ戦等により順位を決定する。書類選考の結果、選抜大会出場に至らなかったチームは、交流戦の部に出場する。

中学校選抜戦は以下のように編成する。

①予選リーグ～16 チームを 4 チーム×4 リーグ(A, B, C, D)に分ける。

→各リーグ 1, 2 位は予選通過 (8 チーム)

②決勝リーグ～8 チームを 4 チーム×2 リーグ(1 組、2 組)に分ける。

* 予選 1 位チームを抽選で 2 チームずつ 2 リーグに分ける。

* 予選 2 位チームを予選 1 位チームと重ならないように分ける。

(例) 決勝 1 組～A1, C1、なら B2, D2 が入る

決勝 2 組～B1, D1、なら A2, C2 が入る

③1 組、2 組の 1, 2 位を代表チームとする。(4 チーム決定)

④1 組、2 組の 3 位 2 チームのうちいずれか 1 チームを、以下の基準で代表とする。

* 予選 3 試合、決勝 3 試合の計 6 試合の結果を、開催要項にあるリーグ順位決定方法に準じて決める。

① チームの勝ち数の多い方を上位とする。(チームの引き分けを 0.5 勝として加える)

② チームの勝ち数が同数の場合は、個人の勝ち数の合計が多い方を上位とする。

(個人の引き分けを 0.5 勝として加える)

これによっても決まらない場合は、以下の方法で順位を決める。

③ 1 番手の勝ち数 ④ 2 番手の勝ち数 ⑤ 直接対決の結果

⑥ 抽選

中学校交流戦は、高点順に棋戦を形成し、4 チームによるリーグ戦を行う。

小学校選抜戦は以下のように編成する。

8 チームを 4 チームごとに A・B の 2 ブロックに分ける。予選として各ブロックでリーグ戦を行い、1・2 位チームが予選通過となり、決勝に進出する(各ブロック 2 チームの計 4 チームが進出)。

決勝戦で各ブロックの 1 位同士が対戦し、勝者を第一代表、敗者を第二代表とする。同様に各ブロックの 2 位同士が対戦する。勝者は第三代表とし、敗者は補欠とする。

小学校交流戦も中学校と同様に行う。

小学校、中学校ともにエントリーの状況によって、試合形式等、変更の場合がある。

以上のように決定された代表チームが

文部科学大臣杯 第 19 回小中学校将棋団体戦 東日本大会に出場する権利を得る。なお、東日本大会への代表順位は、全試合の勝ち数等を勘案して運営委員会で決定する。

(4) チームの勝敗決定方法

① 勝者の数が多い方を勝ちとする(3 勝 0 敗、2 勝 1 敗の場合。まれに 1 勝 0 敗など)。

② 勝者数が同数の場合(欠席や千日手などで 1 勝 1 敗や 1 勝 1 敗 1 引き分けなど) では 1 番手(大将)が勝者のチームを勝ちとする。1 番手が引き分けの場合は 2 番手が勝者のチームを勝ちとする。

③ これによっても決まらない場合、リーグ戦では引き分けとする。引き分けの場合は 0.5 勝とする。順位決定戦の場合は抽選で勝者を決定する。

(5) リーグ戦などの順位決定方法

- ① チームの勝ち数の多い方を上位とする。(チームの引き分けを0.5勝として加える)
- ② チームの勝ち数が同数の場合は、個人の勝ち数の合計が多い方を上位とする。
(個人の引き分けを0.5勝として加える)

これによっても決まらない場合は、以下の方法で順位を決める。

- ③ 1番手の勝ち数 ④ 2番手の勝ち数 ⑤ 直接対決の結果
- ⑥ 抽選

(6) 持ち時間

持ち時間は、1人7分。使い切ったら1手30秒未満の秒読みとする。
(進行上、時間を変更する場合有り)。

(7) 対局

- ① 対局は総平手とする。
- ② オーダーは最上位者を1番手(大将)とし、その後は段級点の順序とする。
- ③ 両チームの対戦の先後は1番手(大将)の振り駒による。(2番手以降は先後を交互にする)
- ④ 相手のチームが遅れた場合、審判員立会いの下、1番手が振り駒をし、相手方のチェスクロックを作動させる。開始後時間が切れた場合、失格とする。引率者が遅れた場合、引率者が到着するまで試合に参加することはできない。
- ⑤ チェスクロックは、後手番の好きな方に置き、必ず指した手で押す。
- ⑥ 持ち駒は盤の右側に置く。互いの持ち駒が見える位置に置く。
- ⑦ 同一局面が4回生じた場合千日手とする。**千日手の場合は引き分け**とする。
- ⑧ 相入玉しそうな局面になった場合や、試合終了まで大幅に時間がかかると予想される場合は審判部の裁定を求める。(相入玉の判定は27点法でおこなう。同点の場合は後手の勝ち)
- ⑨ どちらかの投了で勝敗を決定する。投了は「負けました」とはっきりと相手に分かる言葉と態度で意思表示をする。
- ⑩ 次の行為は反則負けとする。対局相手の反則を発見した場合は、それを指摘するか審判の判断を求める。(⑫を参照) ただし、終局後の反則の指摘は無効とする。
 - ・二歩 ・動けない駒を打つ ・二手指し(手が離れれば指したことになります)
 - ・打歩詰め ・連続王手の千日手 ・駒の動けない所に動く ・成れない駒が成る
- ⑪ **他者の助言を禁止する。**また、対局者が助言を求める行為も禁止する。対局者以外の者の指摘、例えば、「時計の押し忘れの指摘」や「二歩等の指摘」、「目による合図」「うなずき」等も助言に当たる。なお、助言が生じた場合は、助言者との関係がより強い選手の方を負けとする。
- ⑫ 対局中、何か問題が起こった場合(相手の反則を発見した場合など)、又は自分では解決ができないような状態になった場合(急な腹痛など)には、対局者は手を上げて審判員の判断を求めることができる。必ず時計の「**中断**」を押した後、手を上げること。
- ⑬ その他、運営上生じる問題は、日本将棋連盟の規約に準じ運営部が裁定する。指示に従うこと。

(8) その他

- ① 遅刻・欠場者が生じた場合、必ず当日の受付で申し出る。
- ② 出場申し込みが受理された時点で、参加が決定される。以後、辞退が生じた場合でも、参加費の納入は義務付けられる。
- ③ 当連盟及び新聞社が記録のため撮影することがあります。不都合な場合はご連絡ください。
- ④ 新型コロナウイルス感染症影響下での開催のため、申込書に必ず緊急連絡先(携帯電話)を記入してください。

「参加チーム決定方法」(出場チームを制限する場合)

例: 申し込み10校48チームから、40チームが出場すると仮定した場合。

はぶ中学校	いなば中学校	ひろせ中学校	さとう中学校	くぼ中学校	とよしま中学校	ふかうら中学校	みうら中学校	いとだに中学校	あくつ中学校
A 1	A 2	A 3	A 4	A 5	A 6	A 7	A 8	A 9	A 10
B 11	B 12		B 13	B 14	B 15	B 16	B 17		B 18
C 19			C 20	C 21	C 22	C 23	C 24		C 25
D 26			D 27	D 28	D 29	D 30			D 31
E 32			E 33	E 34	E 35	E 36			E 37
F(学年点8)			F(学年点8) 40	F 38	F				F(学年点9) 39
G			G	G					G
				H					
				I					

手順①+②

A→B→C→D→Eまでは参加チーム数に余裕があるので、「あくつ中学校Eチーム」までの37チームは、最初に参加確定。

手順③ 優先順位1…参加チーム数が最も多い「くぼ中学校」を優先。「くぼ中学校Fチーム」は参加確定。

優先順位2…「はぶ中学校」・「さとう中学校」・「あくつ中学校」は申請チーム数が同じ。
よって、学年点の高い「あくつ中学校Fチーム」は参加確定。

手順④ 「はぶ中学校Fチーム」・「さとう中学校Fチーム」は、学年点も同じ。このため、役員会による抽選によって決定。

○段級位を段級点に変換する表

段級位	四段以上	三段	二段	初段	1~2級	3~4級	5~6級	7~9級	10~12級	13級~初心
段級点	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1